



平成30年度・訪問学級だより



平成30年6月20日

東京都立町田の丘学園校長 茂木 裕之

町田の丘学園の訪問教育について

* 訪問教育とは、憲法に保障されている義務教育及び高等学校教育を誰もが受けることができるようにという考えの下に、健康状態や家庭の事情、入院等により、毎日通学することが困難である児童・生徒に対して、家庭や施設・病院などに教員が訪問して教育を行う制度です。



* 本校では、肢体不自由教育部門の小学部・中学部・高等部にそれぞれに、主に自宅や施設等で学習する「**在宅訪問**」があります。各学部の教育課程に準じ、児童・生徒の実態に応じた指導を行っています。

* 授業は、担任との1対1の授業が基本ですが、集団での関わりを大切にする・障害の特性や発達の段階等に応じた学習を行うなどの観点から、複数の教員が訪問することもあります。普段の授業のほかには、始業式、終業式なども行います。また、登校（スクーリング）できる条件が整えば学校に登校して学習に参加し、通学している友達と交流したり、運動会、まちだ祭、校外学習、宿泊行事、学習発表会等の行事に参加したりして、社会性を育てる機会も設けています。

ショートステイなどした場合は、学習の保障のために入所先と相談しながら訪問授業を行うこともあります。



授業の様子



写真①

体調の安定をベースにして学習を行っています。上記にもあるとおり、個々の課題に応じた在宅（家）での活動が中心ですが、学校や友達とのつながり、学びあいも大切にしています。

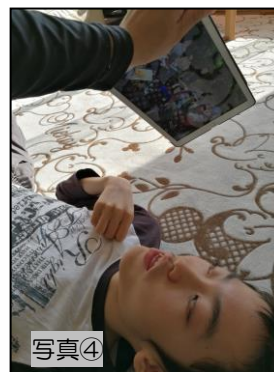
ここでは、その一例を紹介します。写真①は、理科の授業です。同じ植物を栽培し成長記録を付け、通学生と訪問生で、お互いの観察記録を見合う活動をしています。②は買物学習に向かう場面です。通学生がお店について学習する時期に、訪問生も近くのスーパーへ行きました。「〇〇くんも買物へ行ったよ」など、互いの学習の中で紹介しています。③④は、ビデオや写真、SMSで交流している様子です。学校と家、離れた場所での活動になりますが、仲間として意識をもちながら学習を進められるようにしています。



写真②



写真③



写真④